

東日本大震災・原子力災害伝承館 プロローグ映像ナレーション  
R2.7.17 文化スポーツ局生涯学習課

1967年。  
あれは私がまだ二十歳（はたち）の時です。  
日本は高度経済成長の真っ只中、  
国が進める原子力政策のもと  
ここ福島県でも  
原子力発電所の建設が始まりました。  
地元には大きな雇用を生み出したのです。

1971年3月には  
東京電力福島第一原子力発電所  
1号機の運転が開始され、  
作られた電気は、毎日、首都圏に送られて、  
日本の成長を支え続けてきたのです。

そして..  
40年後の、  
2011年3月11日、  
午後、2時46分  
東日本大震災。

マグニチュード9.0  
日本観測史上最大規模の地震が発生。

東京電力福島第一原発  
1号機、2号機、3号機が緊急停止。  
津波による浸水で全交流電源を喪失。

原子炉を冷やすことができなくなって  
原子炉建屋が水素爆発を起こしました。

大気中に放出された  
放射性物質。  
たくさんの人が避難生活を強いられた。

今、みなさんがいる、この建物が建つここも。  
あれがら長いごど、避難指示区域だったんだぞい。

それぞれが一生懸命にそれぞれの日常を取り戻そうとする中、  
復興は、残念ながら、まだまだ道半ば、

光もあれば影もある。  
発電所の廃炉作業はまだまだ続いて、  
私が生きでるうちに  
見届けられっかどうか。  
無理がも知んにな。

震災のこと、事故のこと、  
復興のこと、これからの未来のこと、  
この場所で  
みなさんと一緒に考えることができれば、  
そう思って、います。